



4月の生活目標

学校のきまりを守ろう

「自立した学び舎 三小スタイル」ファースト・モデルの完成を目指して

校長 山下 裕司

本日より、令和6年度の三小がスタートしました。お子様のご入学、ご進級、心よりお祝い申し上げます。

今年度も本校の校長を務めます山下裕司（やました ひろし）です。どうかよろしくお願い申し上げます。

昨年度より、「自立した学び舎 三小スタイル」の看板を掲げ、「子どもの文脈で学習できる単元開発」を組織目標として、また、校内研の研究主題として、組織一丸となって子どもたちの学びの革命に取り組んでまいりました。今年度もこの看板と組織目標を掲げ、更に発展させてまいります。

自立した学びとは、どんな時代でも、困難な状況に直面しても、今もっている自分の力を活用し、人と協働解決できる資質・能力を身に付ける学びです。そこには、常に新たな知を獲得し、時代に応じて求められる力を習得していくことができるのです。このような学びを実現するために、「子どもの文脈で学習できる単元開発」が必要なのです。単元の導入で個々に問いをもち、仲間と協働しながら探究する1時間1時間の授業に意味があり、つながる、この様に学びが展開します。そして単元末には、その単元で身に付けた力を活用し、自分なりの表現ができるわくわくするようなゴールが待っています。このような導入からゴールまでの仕掛けを考え、工夫し設定することが開発なのです。これは、人間である教師にしかできないことです。三小の教師は、昨年の研究を通して、子どもが芽を輝かせ、主体的に協働的に学ぶ姿に驚きと喜びを感じ、喜々として単元開発に取り組みました。今年度は、更に、学習の振り返りを子ども、保護者、学籍上の担任、学年担任の4者で学期末に共有する4者面談を始めます。「自立した学び」を実現するための建設的で、継続的な学びとなるように価値あるものを見だしていきます。



令和6年度版毛筆

そのためには、昨年度より一層、学年担任制を強化する必要があります。ここで定義したいのが、学年担任は、毎日の学年一人一人の児童の学習と生活を指導する教員とします。学籍上の担任は、毎日の朝、給食、掃除、帰り、学級会活動等の生活上の活動を行う教員とします。このように、学習も生活も複数の教員で多角的、多面的に捉え、より良い方向へと指導していきます。

学年担任制により学年担任が協働して単元開発をいたします。1、2学期は探究的な学習の単元開発を（フリースタイル総合を含む）そして、3学期は1、2学期に培った力をいかしたマイプラン学習の単元開発を行います。また、暑さ対策や大きな行事である運動会を2学期のメインに、展覧会を3学期のメインとし、時期に応じて、行事の取組に専念できるように落ち着いて学習できるようにします。このように、1年間、子どものも教師もメリハリのある学習、授業を展開することで、今何に力を入れて行うのか見通しをもつことができるようにします。これが「自立した学び舎 三小スタイル」のファースト・モデルです。その他の取組も「これを見れば令和6年度の三小がまるわかりリーフレット」に掲載していますので、ご覧ください。

始業式で子どもたちに話した「生」という毛筆。真ん中の横一画「一」は、現在を表します。そして、一番下の一画の「一」は過去を表します。過去が現在を支え、創っているのです。そして過去はへきえることができません。一番上の一画の「一」は未来を表しています。ですから、縦の一画は、未来を突き抜けているのです。

また、未来は、変えることができるのです。それは、人の心で、人の行動で。だから、生きるという漢字には、「人」が見えるでしょう。という話をいたしました。

三小の未来も、子どもたちや教師、保護者、地域の皆様の人の力で、明るい未来に変えていきます。

令和6年度も皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

これからの未来を明るく変えていく三小子どもたち（誰一人取り残すことなく包摂的に育てる本校の宝）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
児童数	116名	118名	123名	131名	124名	111名	724名
学級数	4	4	4	4	4	3	23